

安心して接種できる不活化ポリオワクチンの早期導入を求める意見書

我が国では、ポリオ予防接種のワクチンとして、弱毒化したポリオウイルスを使う生ワクチンが使用されており、30年近くにわたり自然に発生するポリオ発症例の報告はないが、生ワクチンの接種に起因するポリオ患者が発生している。

生ワクチンの投与により100万人に数人の割合でポリオ患者が発生することについてはWHOも警告している。また、接種している子から接種していない子や親への二次感染の危険がある。

先進国の多くでは、既に不活化ポリオワクチンに切り替えており、その安全性と効果が実証されている。

厚生労働省では、不活化ワクチンの円滑な移行に向け、具体的な方法について検討が進められており、スケジュールも明らかにされているところであるが、生ワクチンに由来するポリオ発症の被害を完全に防ぐためにも、不活化ワクチンへの切替えは、安全・安心を第一に、より一層早急かつ着実に行うべきと考える。

よって、本市議会は、国に対して、予防接種制度における不活化ポリオワクチンを一日も早く導入するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2011年12月15日

堺市議会

内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣

各宛